

禁 転 載 複 製
当 日 配 付
試 験 終 了 後 公 開

2026年度 技能検定

2 級ガラス用フィルム施工学科試験問題

(建築フィルム作業)

1. 試験時間 1 時間 1 0 分

2. 問題数 5 0 題 (A群 25題、B群 25題)

3. 注意事項

- ① 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
- ② 答案用紙には、級別、受検番号及び氏名を必ず記入してください。
- ③ 試験問題がこのページを含め 7 ページあるかを確認してください。
異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
問題は、A群（真偽法）とB群（多肢択一法）とに分かれています。
- ④ 試験開始の合図で始めてください。
- ⑤ 解答は、答案用紙の解答欄に記入することとし、解答の方法は次のとおりです。
イ A群の問題（真偽法）は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断し、
正しいと思うものには「○」を、誤っていると思うものには「×」を記入してください。
ロ B群の問題（多肢択一法）は、正解と思うものを一つだけ選んで、「イ、ロ、ハ又はニ」の
記号を記入してください。二つ以上記入した場合は誤答となります。
- ⑥ 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- ⑦ 携帯電話等は、使用してはいけません。
- ⑧ 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の
読み方等に関する質問には答えられません。
- ⑨ 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従って
ください。
- ⑩ 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- ⑪ 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- ⑫ 本試験問題の解答に当たり適用すべき法令、規格等は、2026年4月1日現在で施行
されている内容に基づくものとします。

2級 ガラス用フィルム施工(建築フィルム作業)学科問題

真偽法

- 問題 1 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、可視光線の波長範囲は、380～780nmと規定されている。
- 問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、衝撃破壊対応ガラス飛散防止性能試験は、地震などによる窓枠の歪みによるガラスの破壊を想定した試験である。
- 問題 3 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス貫通防止フィルムのガラスの貫通防止性能は、鋼球落下試験により区分されている。
- 問題 4 日本産業規格(JIS)によれば、日射調整フィルムは、遮蔽係数によりA、Bの2段階に区分されている。
- 問題 5 日本産業規格(JIS)で規定されているガラス飛散防止フィルムとは、太陽光の散乱を防止するためのものである。
- 問題 6 剥離フィルムは、粘着層の表面保護用のもので、このフィルムを剥がして工事を行う。
- 問題 7 日射調整フィルムの基材に設けられた金属層の機能は、日射を吸収することである。
- 問題 8 フィルム施工工事においては、長袖着用が必須である。
- 問題 9 ゴンドラは、建築窓ガラスフィルム工事をする者であれば、誰でも操作してよい。
- 問題 10 建築窓ガラスフィルム工事は、床、壁、天井などの工事が未完了の状態でも行ってよい。
- 問題 11 建築窓ガラスフィルム工事の段取りでは、フィルムの選定やガラスの採寸以外に、サッシの損傷についても事前に点検する必要がある。
- 問題 12 建築窓ガラスフィルム工事に使用するスキージーは、施工用と清掃用には同じものを共用する。
- 問題 13 矩尺(さしがね)は、ガラス飛散防止フィルム工事においてフィルム裁断用として用いる。
- 問題 14 フィルムを保管する場合、フィルムの両端(小口面)を傷めないように注意する。
- 問題 15 ガラス飛散防止フィルムを現場で施工する場合、1枚貼り、突き付け貼り、重ね切りがある。
- 問題 16 スキージーでフィルムを圧着する場合は、フィルム表面に施工液を噴霧する。
- 問題 17 強化ガラスに日射調整フィルムを貼る工法として、重ね切り工法を用いる場合がある。
- 問題 18 フィルム施工後のフィルムにCPマークを貼付するためには、国家技能検定2級以上の資格を有す

る者による施工が必要である。

問題 19 建築工事のうち、ガラスフィルム工事は設備工事に含まれる。

問題 20 建築窓ガラス用フィルムの改修工事で、フィルムを剥がした後のガラス面に残った粘着剤は水又は洗淨液を噴霧したうえでスクレーパーを用いて除去するが、強固に残った粘着剤に関しては溶剤を用いて剥がし作業を行う。

問題 21 網入板ガラスは、主に防犯のために用いられる。

問題 22 日本産業規格（JIS）のサッシによれば、サッシの性能のうち気密性は、サッシが台風などの雨を伴った風をうけたときに雨水の侵入をどのくらいの風圧まで防げるかを示す性能である。

問題 23 日本産業規格(JIS)によれば、推奨尺度として、倍尺、現尺、縮尺がある。

問題 24 消防関係法令によれば、無窓階とは建物の地上階のうち窓などの開口部を全く有さない階をいう。

問題 25 安全帯の規制に関する法律が改正され、2022年以降はこれまでとは異なる対応が必要となった。

問題 1 太陽光線に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 太陽光線に最も多く含まれる光線は、紫外線である。
- ロ 太陽光線は、地上に到達するまでにその約30%が失われる。
- ハ 赤外線には、殺菌作用がある。
- ニ 紫外線は、熱線とも呼ばれる。

問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、フィルムの種類として規定されていないものはどれか。

- イ 日射調整フィルム
- ロ 低放射フィルム
- ハ ガラス貫通防止フィルム
- ニ 防犯フィルム

問題 3 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議によれば、こじ破り試験では、3体の供試体すべてについて、クレセント及び補助錠を開錠し、外障子側の窓が開くまでの時間が()分以上要したとき、合格とするとしている。

- イ 3
- ロ 5
- ハ 8
- ニ 10

問題 4 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス飛散防止フィルムに関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 衝撃破壊対応のものと層間変位対応のものとが区分されている。
- ロ 内貼り用と外貼り用がある。
- ハ 層間変位試験における飛散防止率は、95%以上である。
- ニ ガラス飛散防止フィルムの可視光線透過率は、60%以上でなければならない。

問題 5 フィルムの性能に関する記述として、適切なものはどれか。

- イ 日本産業規格(JIS)で規定するガラス貫通防止フィルムと飛散防止フィルムの違いは、厚さだけである。
- ロ 基材として使用されているポリエステルフィルムは、アルカリ性の薬品に侵されやすい。
- ハ ガラスに日射調整フィルムを貼付すると遮蔽係数が大きくなる。
- ニ 日本産業規格(JIS)によれば、フィルムには温湿度の変化による寸法安定性は要求されていない。

- 問題 6 建築窓ガラス用フィルムに関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 日射調整フィルムの基材フィルムの厚さは、 $25\sim 50\mu\text{m}$ が一般的である。
 - ロ ハードコートの厚さは、 $2\sim 5\mu\text{m}$ である。
 - ハ 粘着層の厚さは、 $35\sim 60\mu\text{m}$ である。
 - ニ 日射調整フィルムには外貼り用と内貼り用がある。
- 問題 7 建築窓ガラス用フィルムに関する記述として、適切なものはどれか。
- イ フィルムの粘着剤には、紫外線吸収剤が添加されている。
 - ロ 剥離フィルムには、主にポリスチレンフィルムが用いられている。
 - ハ 日射遮蔽フィルムの金属層には、チタンが用いられている。
 - ニ 剥離フィルムの表面には、アクリル樹脂が塗布されている。
- 問題 8 具体的な熱中症対策として、適切でないものはどれか。
- イ 作業環境に適応するための期間を設ける。
 - ロ こまめに水分・塩分を補給する。
 - ハ 透湿性・通気性のよい服装をする。
 - ニ 真夏日には作業を行わない。
- 問題 9 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
労働安全衛生法関係法令によれば、移動はしごの幅は、()cm 以上とすることと規定している。
- イ 30
 - ロ 40
 - ハ 50
 - ニ 60
- 問題 10 建築フィルム工事の施工要領書に記載しなくてもよいものはどれか。
- イ フィルムの種類
 - ロ フィルムの商品名
 - ハ フィルムの性能
 - ニ フィルムの単価
- 問題 11 フィルム施工に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ ガラスの種類によらず熱割れ計算は必ず実施する。
 - ロ 施工前に窓ガラスの損傷の状態について点検する。
 - ハ 外貼り用フィルムは、高所作業車や足場などの使用が可能かを検討する。
 - ニ アクリル樹脂板等の有機ガラスへのフィルム工事は、原則として行わない。
- 問題 12 建築窓ガラスフィルム工事に使用する器具に関する記述として、適切なものはどれか。
- イ 施工液は、洗浄液よりも中性洗剤の濃度が濃いものを使用する。
 - ロ 三角定規は、所定の隙間を確保しながらフィルムを裁断するときに使用する。
 - ハ ペーパータオルは、スクレーパーの刃先を保護するのに使用する。

ニ 清掃用スキージーは、プラスチック製で幅 50～100mm 程度のものを使用する。

問題 13 ガラス飛散防止フィルムのフィルム裁断用器工具として適切でないものはどれか。

- イ 直尺
- ロ 鋼製巻尺（スケール）
- ハ はさみ
- ニ マスキングテープ

問題 14 建築窓ガラスフィルムの保管に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 室内であれば、直射日光が当たる所でもよい。
- ロ 高温になる所には保管しない。
- ハ 箱から出したフィルムは、床に直接置かない。
- ニ 湿度の高い所には保管しない。

問題 15 建築窓ガラスフィルム工事における1枚貼り工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ フィルムを貼り付ける場合、施工液は、ガラス面とフィルムの粘着面に噴霧する。
- ロ 3辺カット法の場合、フィルムの一边をカットラインに合わせる。
- ハ フィルムは、窓ガラスの外縁部に隙間をあけないように密着させて、カッターで裁断する。
- ニ 4辺カット法は、フィルムの4辺をカットラインに沿って裁断する方法である。

問題 16 ガラス貫通防止フィルムの施工に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ フィルムは、窓ガラスの見付け寸法よりも3～4mm小さくカットしておく。
- ロ 貼り付けは、ガラス全面貼りを原則とする。
- ハ 圧着作業は、施工液を軽く1回、押し出しておけばよい。
- ニ 圧着用スキージーは無傷の物を用いる必要がある。

問題 17 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

ガラス飛散防止フィルムの裁断において、フィルムの粗切り寸法は、ガラスの見付け寸法に切り代又は重ね代を加えたもので、切り代は①～②mmを標準とする。

	①	②
イ	3	4
ロ	5	10
ハ	10	30
ニ	30	50

問題 18 フィルム施工後の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 日射調整フィルムの養生期間は、夏期は1～2週間である。
- ロ ガラス飛散防止フィルムの養生期間は、冬期は1ヶ月程度要することがある。
- ハ ガラス貫通防止フィルムの養生期間は、夏期は3ヶ月以上である。
- ニ フィルム面に傷、汚れなどが生じるおそれがある場合は、養生する必要がある。

問題 19 建築構造に関する記述として、適切でないものはどれか。

- イ 軸組工法は、在来工法ともいう。

- ロ 2×4(ツーバイフォー)工法は、木構造の工法である。
- ハ SRC造は、鉄骨と鉄筋コンクリートを組み合わせた構造である。
- ニ 建築物の主要構造部に壁は含まれない。

問題 20 建築窓ガラス用フィルムの改修工事は、下記の手順で行う。

周囲の養生 → フィルムの加湿 → () → フィルムの剥がし → ガラスの清掃
()に入る手順として、適切なものはどれか

- イ フィルムの乾燥
- ロ フィルムの清掃
- ハ フィルムの切断
- ニ ガラスの加湿

問題 21 次のガラスのうち、現場で切断や穴あけ加工が可能なものはどれか。

- イ 複層ガラス
- ロ 強化ガラス
- ハ 合わせガラス
- ニ 倍強度ガラス

問題 22 文中の()内に当てはまる数字として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、サッシの遮音性は性能により()の等級に区分されている。

- イ 4
- ロ 5
- ハ 6
- ニ 7

問題 23 日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図の平面表示記号が表すものはどれか。

- イ 出入口一般
- ロ シャッター
- ハ 引違い戸
- ニ 引違い窓



問題 24 建築基準法関係法令によれば、不燃材料でないものはどれか。

- イ コンクリート
- ロ アルミニウム
- ハ ガラス
- ニ プラスチック

問題 25 労働安全衛生規則には、高さが()m以上の箇所で悪天候時に作業する場合、当該作業の実施について危険が予想される時は、当該作業に労働者を従事させてはならないと規定されている。

- イ 1.5
- ロ 2
- ハ 2.5
- ニ 3

2026年度技能検定
ガラス用フィルム施工学科試験正解表

級別	2 級
----	-----

作業名	建築フィルム作業
-----	----------

A 群（真偽法）	
問題 番号	正 解
1	○
2	×
3	○
4	×
5	×
6	○
7	×
8	○
9	×
10	×
11	○
12	×
13	×
14	○
15	○
16	○
17	×
18	○
19	×
20	×
21	×
22	×
23	○
24	×
25	○

B 群（多肢択一法）	
問題 番号	正 解
1	□
2	ニ
3	□
4	ニ
5	□
6	ハ
7	イ
8	ニ
9	イ
10	ニ
11	イ
12	□
13	イ
14	イ
15	ハ
16	ハ
17	ニ
18	ハ
19	ニ
20	ハ
21	ハ
22	イ
23	イ
24	ニ
25	□